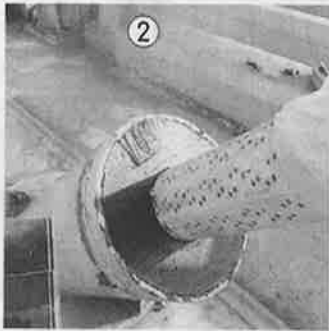
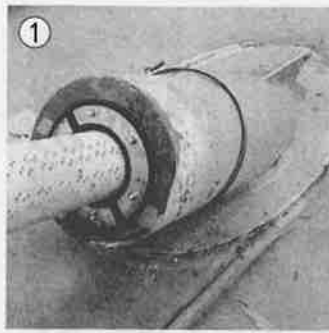


中井商工 長大斜張橋で試験施工

主力のケーブル緩衝材、制振材、防水など

中井商工は上海近郊にある橋長2000以上の長大斜張橋で、リングダンパー、ケーブルバッファHを試験設置する実験的工事を11月に実施した。

既存の粘性ダンパーに新規リングダンパーや緩衝材を設置した場合の付加制振評価の実験協力を依頼され、材料輸出と現地指導、施工をしたもの。同社では同様の調査や工事、聞き取りなどの依頼が増えているという。2000年に入ってからエジプトの日本・エジプト友好橋や、ベトナムのBINH橋、カント



①リングダンパーの設置
②ケーブルバッファHの設置

一橋、ニヤタン橋、香港のストーンカッターズだ。今回の工事は、リングダンパーを3カ所、ケーブルバッファHを1カ所設置するもの。

中国では、こうした場の設計、製作、現地での指導や施工を重ねてきておる例が多くみられ、維持管理上多くの課題があったという。

この課題を改善するため、中井商工の多々羅大橋の施工例を参考に、同社が主力に展開してきたケーブル緩衝材や制振材、ケーブル防水などでの実験的対策に決まった。今後、試験設置した個所は経過観察が予定されている。

な桁橋と違い、特殊な部材が多く、例えば吊橋特有の定着部やケーブルなどがあり、構造上、ケーブルの腐食が進む環境などがある。また、斜張橋もしくはケーブルを交換しなければいけないの外から磁石を当てると、素線が腐食している部分の腐食の要因となる。素線が腐食している部分の腐食の要因となる。素線が腐食している部分の腐食の要因となる。



採用に採用 渋谷スカイに採用
オールステンレス製ワイヤーネット
鳥害対策アンテックが開発・製造

フランジや支承周りなどに堆積したハトやカラスなどのフンによる構造物の劣化を防ぐ鳥害対策を主力とするアンテックが自社開発・本格販売を始めている。「世界で唯一」というオールステンレス製ワイヤーのネットから引き合いが多く、今般の渋谷スカイでも性能と外観が支持された。渋谷スカイは、スクラブルスクエアの象徴的な商業施設として開業。上空230mの屋上展望空間から関東平野を一望できる人気スポットとなっている。また、落下物などがあると惨事に発展するため、安全管理の観点から防止ネットを数カ所に設置する構造で、アンテックのオールステンレス製ワイヤーのネットが単独で採用されている。

ローバル Mg配合など新補修剤

環境、高耐候など現場ニーズ応え

亜鉛含有量の多さが支持され橋梁補修の現場で長年使われている常温亜鉛めっき塗料・スプレーのローバルに、各種環境規制に対応したマグネシウム配合の合金メッキ補修用塗料「ALMZ（アルムズ）」、「ローバルエコタイプ」、「ローバルシルバリエコタイプ」が新商品として加わった。3種の新製品は、塗装作業員の健康被害ならびに事業者の負担の低減を

目的に、有機溶剤中毒予防規則、特定化学物質等障害予防規則、PRTR法などの主要環境規制にずれもクリアし、流通在庫や保管量の管理に配慮した消防法分類第2石油類を満たす製品として開発されたもの。

アルムズはマグネシウムとアルミ、亜鉛を配合、既存の亜鉛合金めっきJIS規格製品や、耐候性に優れるとして近年需要が増しているマグネシウム配合亜鉛合金めっきに最適な補修剤となるよう発売した。

ローバルエコタイプとシルバリエコタイプは、それぞれ従来品の性能をそのままに、環境性能を高めて発売した。

同社では環境キャンペーンを実施中で、希望があればエコタイプの各種製品を使用することも可能だ。

センター発表会を開催

東京都建設局

東京都建設局土木技術支援・人材教育センターは12月11日、東京都議会議事堂1階南側都民ホールで、令和元年度土木技術支援人材教育センター発表会を開催した。

発表会では、アスファルト舗装への中温化混合物の適用性、視覚障害者をテーマに特別講演が催された。

発表の様子



発表の様子